

2026年3月期 決算説明会資料



2026年5月20日

本資料は2026年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

1. ばね業界について
2. 2026年3月期 連結業績概要
3. 2027年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
 - 4-1. 進捗状況
 - 4-2. 注力市場
 - 4-3. 構造改革
5. トピックス、まとめ

精密ばねは、
淘汰されるリスクが低い上に
需要は拡大している
稀有で幸運な事業です。

ばねは代替・淘汰されるリスクが低い

新技術に代替されるリスク

- ・ばねを淘汰する代替技術を開発するインセンティブが無い
 - ・限られたマーケットサイズ
 - ・開発しても開発費と設備投資がペイしない
 - ・金属ばねのコスパを上回ることの難易度

新興メーカーに淘汰されるリスク

- ・ばねは新規参入しづらい
 - ・既存メーカーの高い優位性
 - ・AIでは解明できない蓄積されたブラックボックス技術
 - ・多くの償却済みの設備
 - ・ばね製造設備の緩やかな進化速度
 - ・流動性の低いばね人材
 - ・新規参入の魅力に乏しい市場
 - ・新規参入の努力とリスクに似合ったリターンが望めない



ばね市場全体は増加傾向

医療と航空機が縮小分を補って余りあり

医療

- ・市場拡大
- ・ばねを使う医薬品デバイスの需要増

航空機

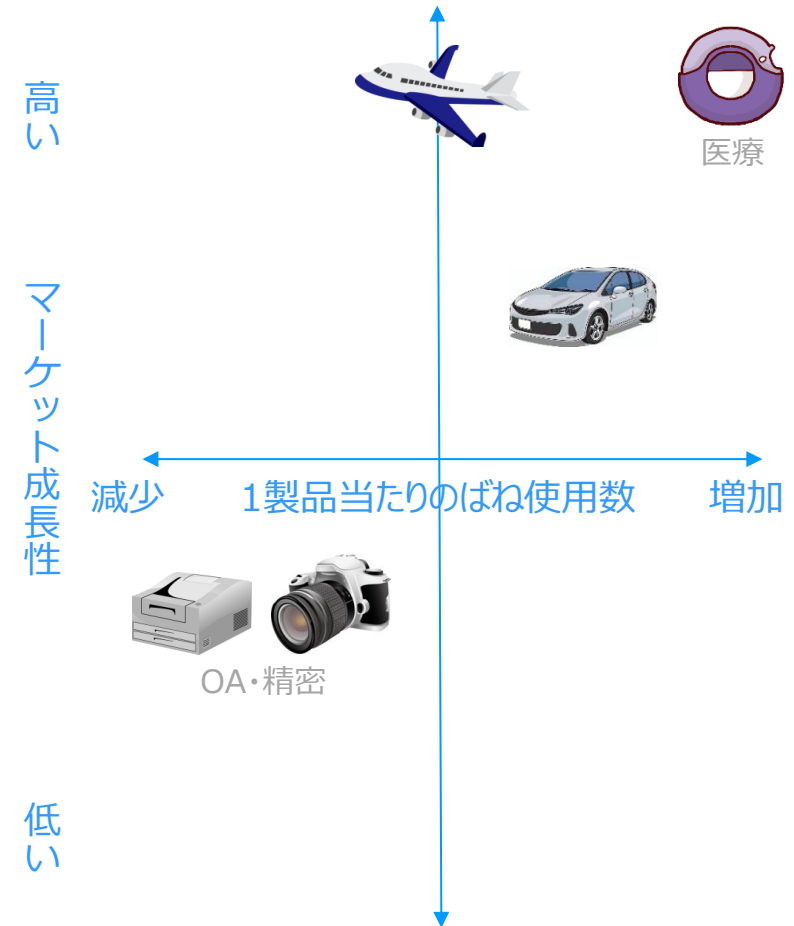
- ・市場拡大
- ・1機当たりのコイルスレッドの需要は変わらない

自動車

- ・市場拡大
- ・電動化・安全性・快適性向上で1台当たりのばね(精密金属部品)需要増

OA・精密

- ・市場横ばい or 縮小
- ・構造簡素化で1台当たりのばね需要減



1. ばね業界について
2. 2026年3月期 連結業績概要
3. 2027年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
 - 4-1. 進捗状況
 - 4-2. 注力市場
 - 4-3. 構造改革
5. トピックス、まとめ

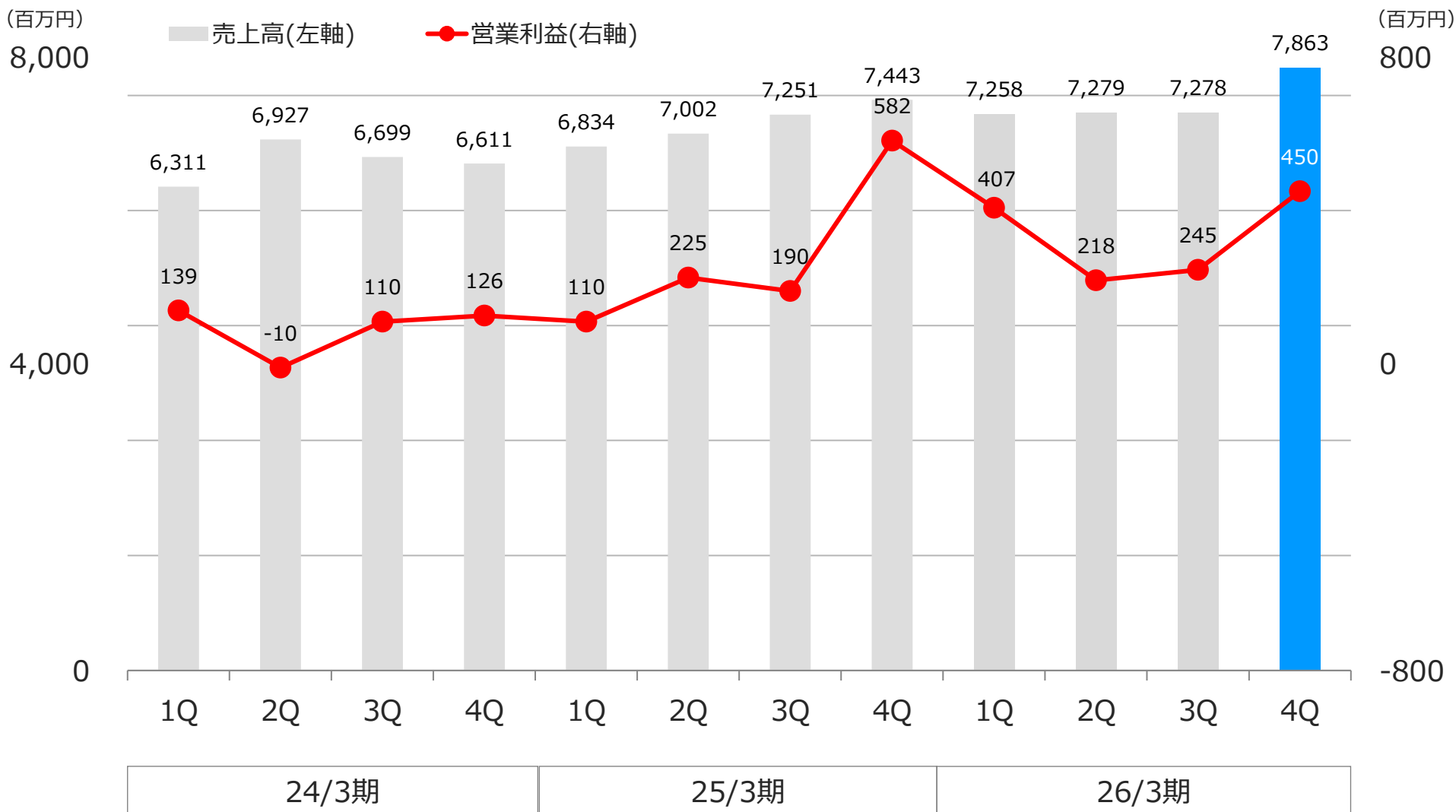
2. 2026年3月期連結業績概要

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	28,532	29,679	+1,147	+4.0%
営業利益	1,109	1,322	+213	+19.2%
営業利益率	3.9%	4.5%	-	-
経常利益	170	1,343	+1,173	687.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△628	1,027	+1,655	-

- 欧米を中心に医療向けが引き続き好調を維持したことと、下期から航空機向けが回復したことから売上高及び営業利益は前期比増加
- 保有資産・負債の評価替えによる為替差損が前期は△761百万円だったが、今期は+264百万円と為替差益に転じた
- 結果、経常利益及び当期純利益も黒字を確保

2. 連結売上高・営業利益推移

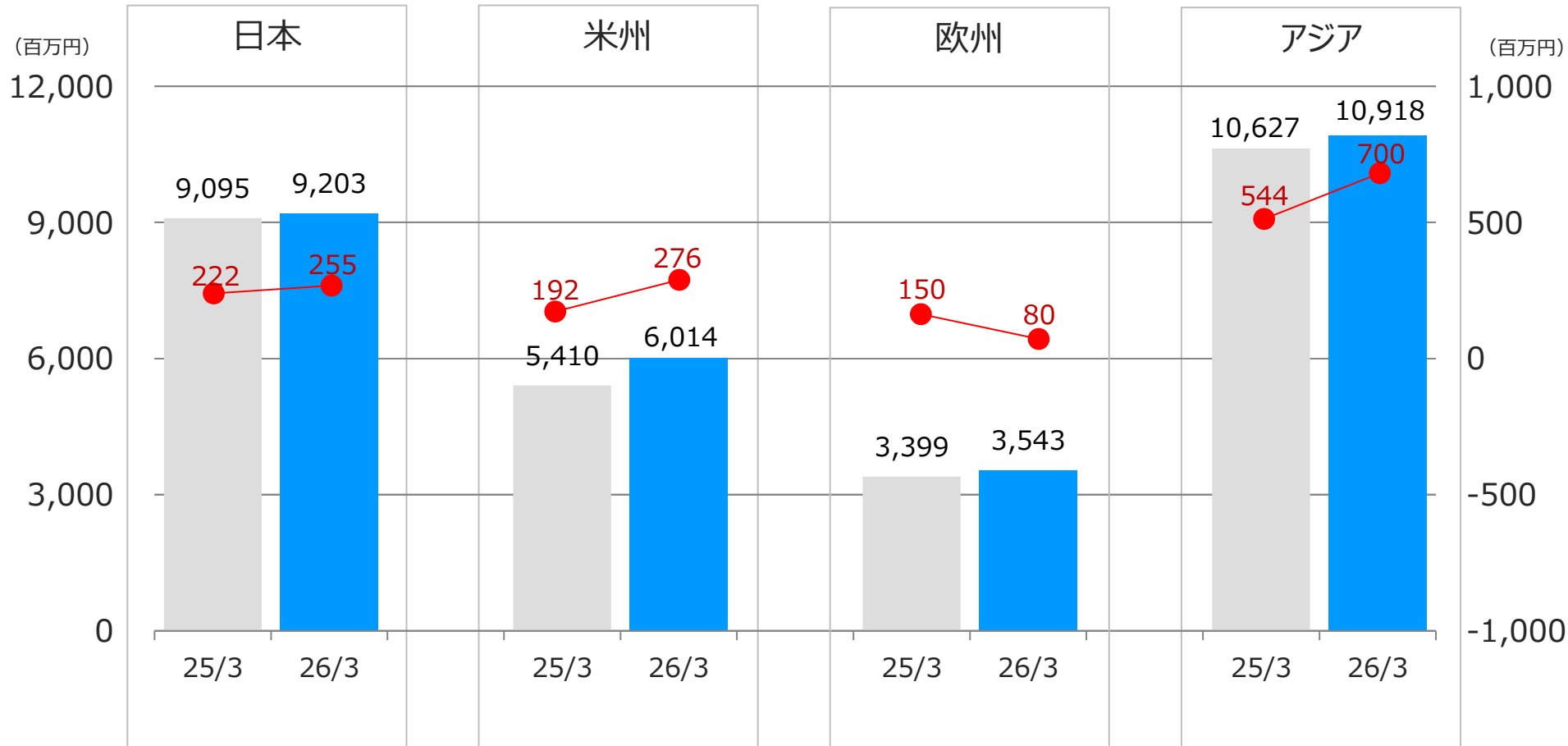


25年3月期レート： 1 US\$ = 152.3円

26年3月期レート： 1 US\$ = 151.0円 2025年3月-2026年3月毎月月末TTMLレートの平均

2. 所在地別売上高・セグメント利益

■ 売上高（左軸） ● セグメント利益（右軸）



+ 米関税の逆風も自動車・精密向け売上増
- 米関税によりOA向け売上減

+ 医療向け売上増
+ メキシコ工場改善
- 材料仕入れへの課税

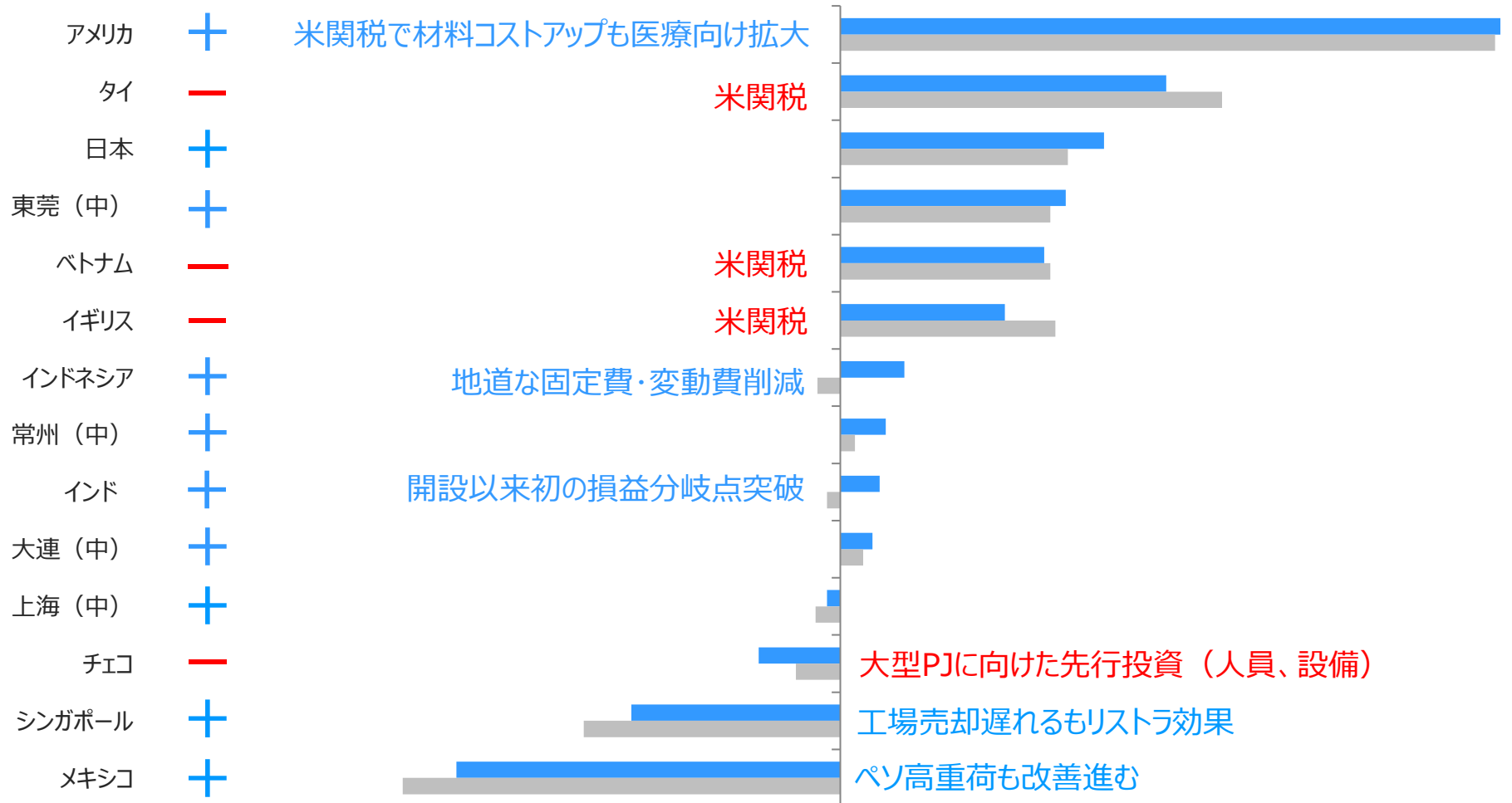
+ 航空機向けが米関税で上期低調も下期挽回
- チェコ工場先行投資
- 人件費高騰

+ 米関税の逆風も自動車・OA向け売上増
- 米関税により情報機器向け売上減
- 人件費高騰

26/3期
25/3期

— 営業利益比較 +

前期比



2. 連結市場別売上高

(市場別)	25/3期	構成比	26/3期	構成比	増減額	増減率 (百万円)
自動車(輸送機器)	14,463	50.7%	14,493	48.8%	30	0.2%
医療機器	5,365	18.8%	6,038	20.3%	673	12.5%
O A 機器	2,840	10.0%	2,749	9.3%	△91	△3.2%
航空機器	1,743	6.1%	1,858	6.3%	115	6.6%
精密機器	927	3.0%	1,067	3.6%	140	15.1%
インフラ・住設	690	2.4%	768	2.6%	78	11.3%
AV・家電	560	2.0%	622	2.1%	62	11.1%
情報通信機器	444	1.6%	388	1.3%	△56	△12.6%
その他	1,500	5.3%	1,696	5.7%	196	13.1%
合計	28,532	100.0%	29,679	100.0%	1,147	4.1%
(規格品)						
コイルスレッド	1876	5.4%	2,228	7.5%	352	18.8%

2. 設備投資・減価償却・有利子負債

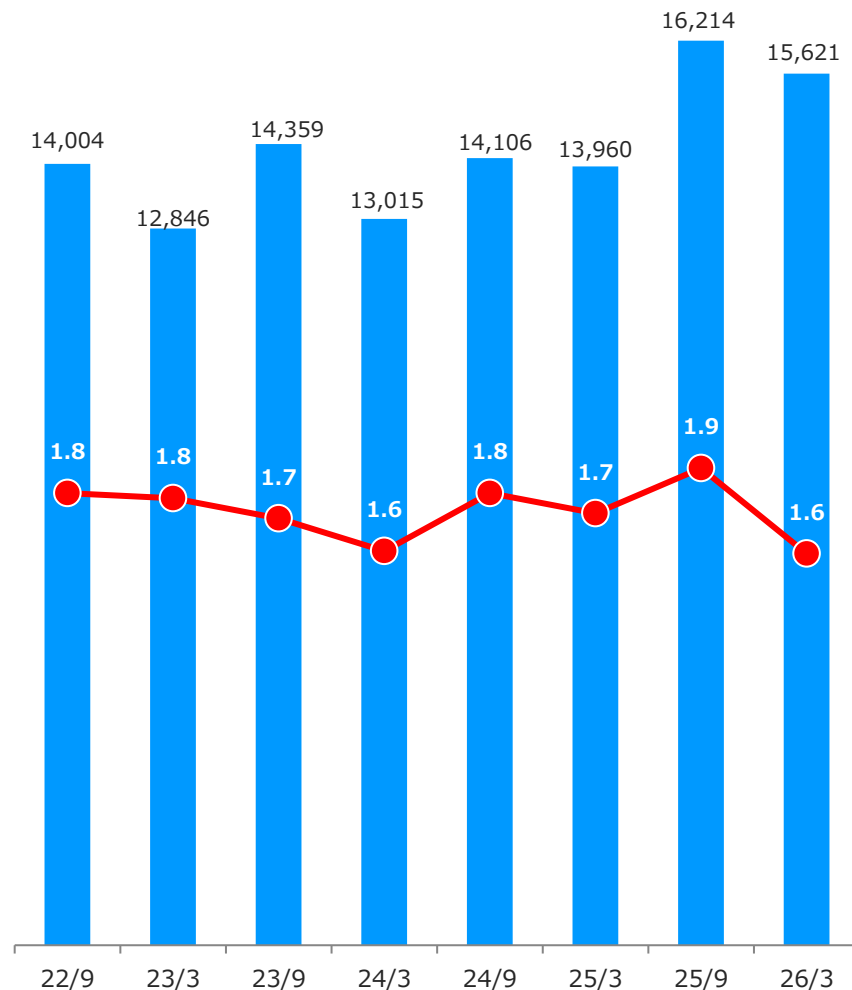
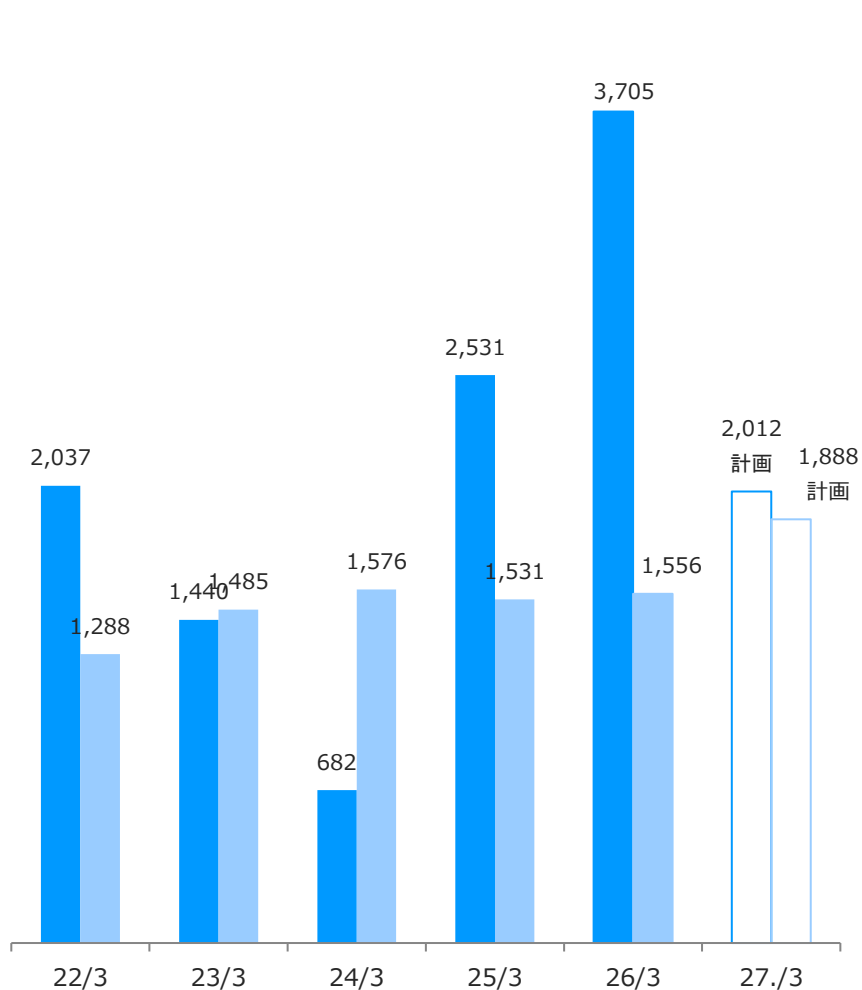
■ 設備投資 ■ 減価償却

(百万円)

■ 有利子負債
(含むリース債務)

● D/Eレシオ

(百万円)



1. ばね業界について
2. 2026年3月期 連結業績概要
3. 2027年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
 - 4-1. 進捗状況
 - 4-2. 注力市場
 - 4-3. 構造改革
5. トピックス、まとめ

3. 2027年3月期通期業績予想

(百万円)

	2026年3月期	2027年3月期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	29,679	30,000	+321	+1.1%
営業利益	1,322	1,500	+178	+13.4%
営業利益率	4.5%	5.0%	-	-
経常利益	1,343	1,200	△143	△10.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,027	2,000*	+973	+94.6
* 2027年3月期中の売却を計画しているシンガポール工場の売却益他を含んでいます (円)				
一株あたり 配当	35	50	+15	+42.9%

1. ばね業界について
2. 2026年3月期 連結業績概要
3. 2027年3月期 連結業績予想
- 4. 中期経営計画**
 - 4-1. 進捗状況
 - 4-2. 注力市場
 - 4-3. 構造改革
5. トピックス、まとめ

21/4期-24/3期
Phase1

24/4期-27/3期
中期経営計画 Phase2

27/4期-
Phase3

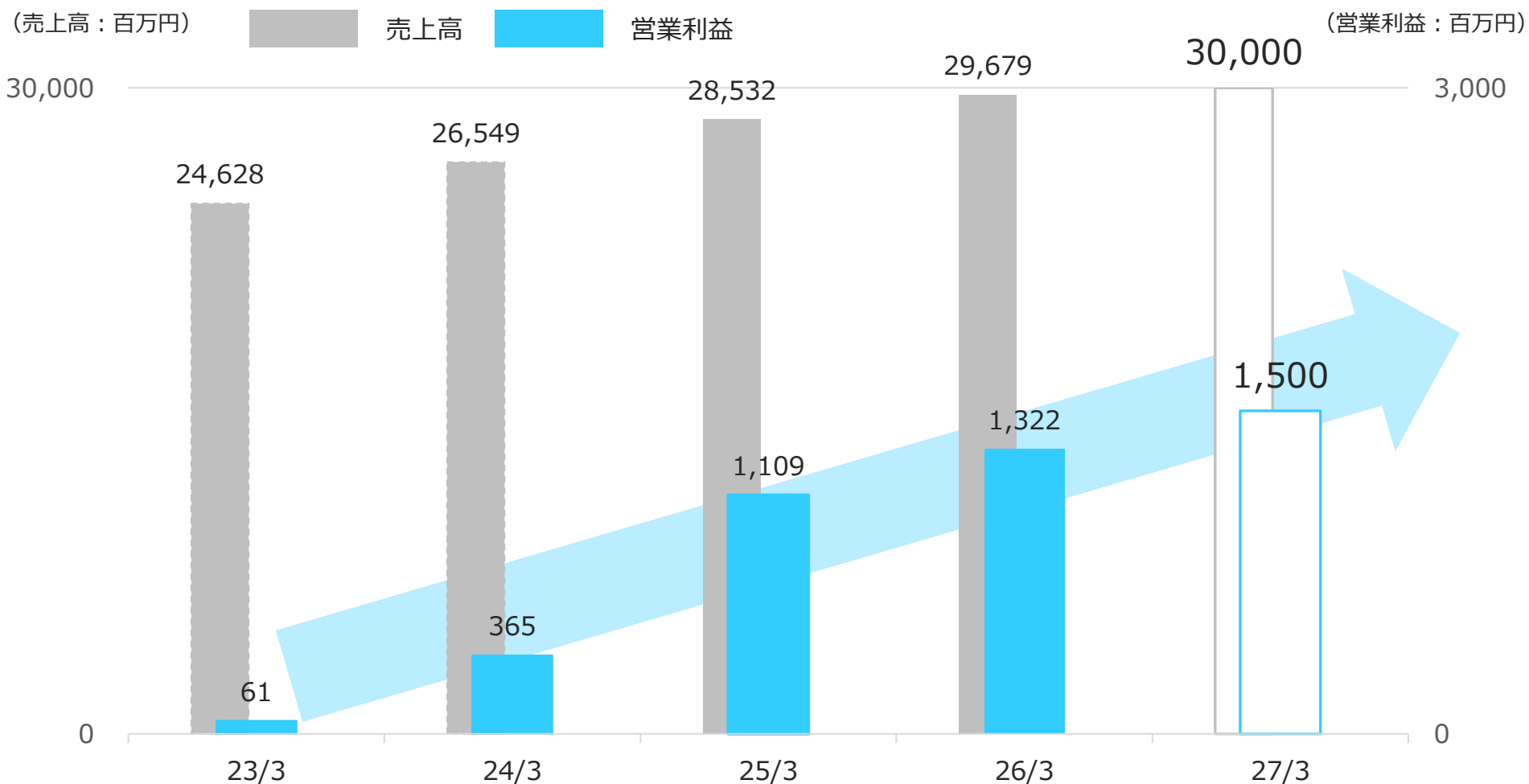
本格的に飛躍

飛躍に向けて手を打つ

- グローバル連携・団結の強化
- 注力市場への経営資源投下
- 構造改革の実行

	26/3期 実績	27/3期 業績予想 26.5.15公表	27/3期 中計KPI 24.5.23公表
売上高	29,679	30,000	29,000
医療売上	6,038		6,000
コイルスレッド売上	2,228		3,000
営業利益	1,322	1,500	1,500
有利子負債	15,621		9,000以下
自己資本比率	31.1%		30%以上
ROE	11.3		7.0%以上
配当（1株あたり）	35円	50円	50円

中期経営計画のPL目標は過達できる見通し



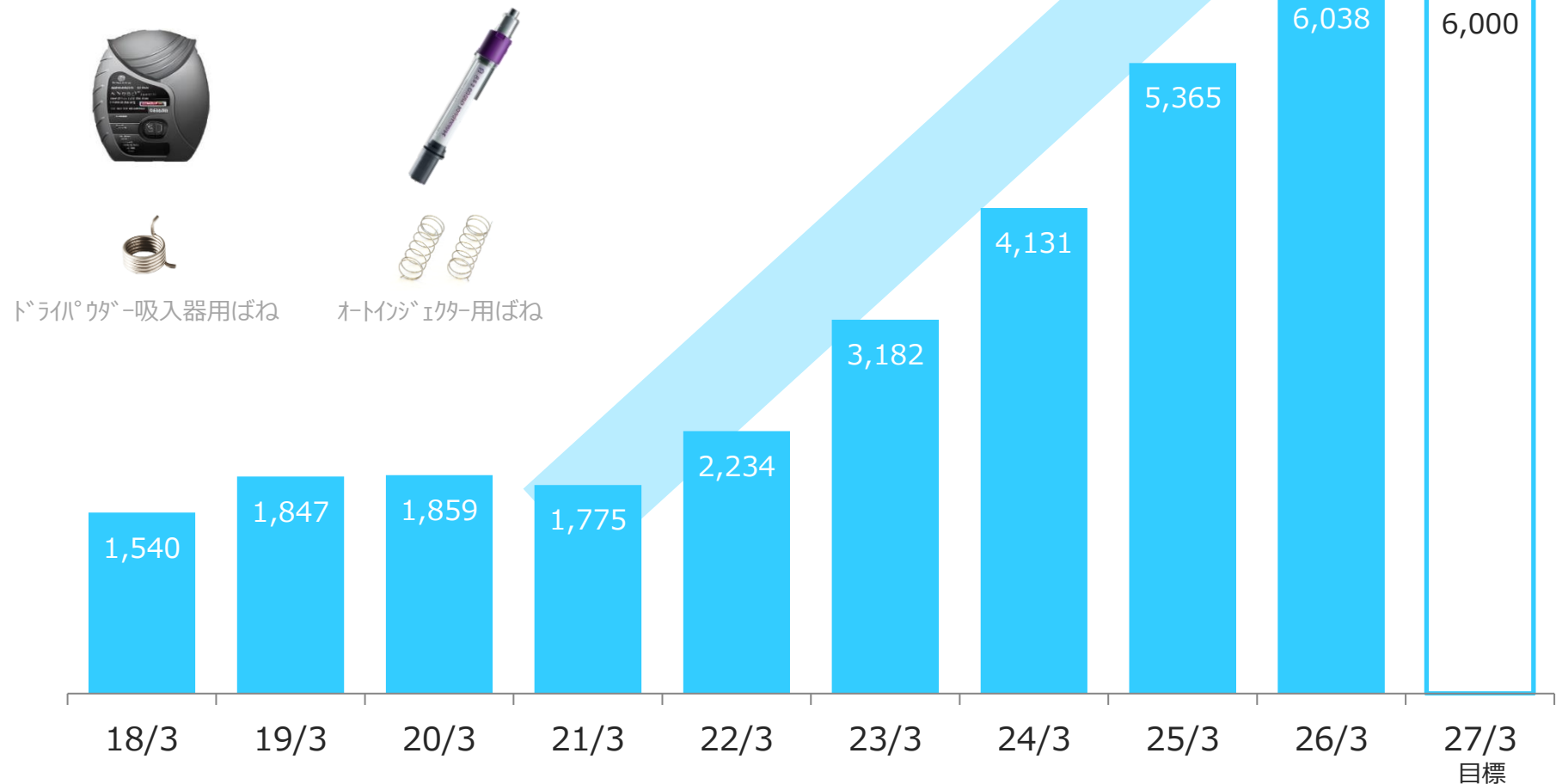
* 2024年5月に公表した中計目標は売上高290億円・営業利益15億円だったが、2026年5月公表の業績予想は売上高300億円・営業利益15億円

4大重点テーマをやりぬき、営業利益上振れを狙う

中期経営計画 重点テーマ	27/3期 目標	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	進捗 評価	コメント	(億円)
医療拡大	売上 60	41	53	60	◎	1年前倒しで達成。 引き続きオートインジェクター、 吸入器を中心に拡大	
コイルスレッド® 拡大	売上 30	19	19	22	○	B社復調もあり、26/3期下期に 急回復。 目標の30億円を狙う	
シンガポール子会社 ブレイクイブزن	営利 ±0	△3.2	△2.5	△2.0	△	上期中に工場売却予定。 販社業に転換しブレイクイブزن狙う	
メキシコ子会社 ブレイクイブزن	営利 ±0	△6.3	△4.3	△3.7	△	ペソ高は重荷も、売上拡大・ 生産性向上でブレイクイブزن狙う	

1年前倒しで目標60億円を達成

(百万円)



特に医療において当社グローバル体制は有利

医療向けは当社主要市場の中で当社のグローバル体制（海外11カ国15生産拠点）の優位性を最も発揮しやすい



医療業界で当社ブランドの認知向上。ラインナップも拡充

注射・注入関連デバイス					呼吸器系・吸入投与デバイス			検査・測定デバイス		
オートインジェクター		ペンインジェクター		点滴注射	ガス式	ばね式		ウェアラブル式	採血式	
専用デバイス	プラットフォームデバイス	専用デバイス	留置針		ガス噴霧	ドライパウダー	ソフトミスト	グルコース測定	血液測定	
特定の薬剤専用、 1回で使い捨て、 大ロット向け		様々な薬剤で使用、 1回で使い捨て、 小ロット向け		カートリッジ交換、 複数回使用	注射針を抜き ナイロン製管のみ 残す仕組み	ガスの圧力で噴霧、 ばねはカウンター 機構用	薬剤は粉状、 使用者の吸引力で 薬剤を吸い込む	薬剤はミスト状、 吸引力が弱い高齢者・ 幼児にも有効	体に貼ったデバイス からスマホに測定値 を送信(Bluetooth)	いわゆるランセット。 針で血液を採取、 従来方式
										
②		③		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
										

* ばねとデバイスのイメージは実物ではなく類似品のもの（顧客情報保護のため）

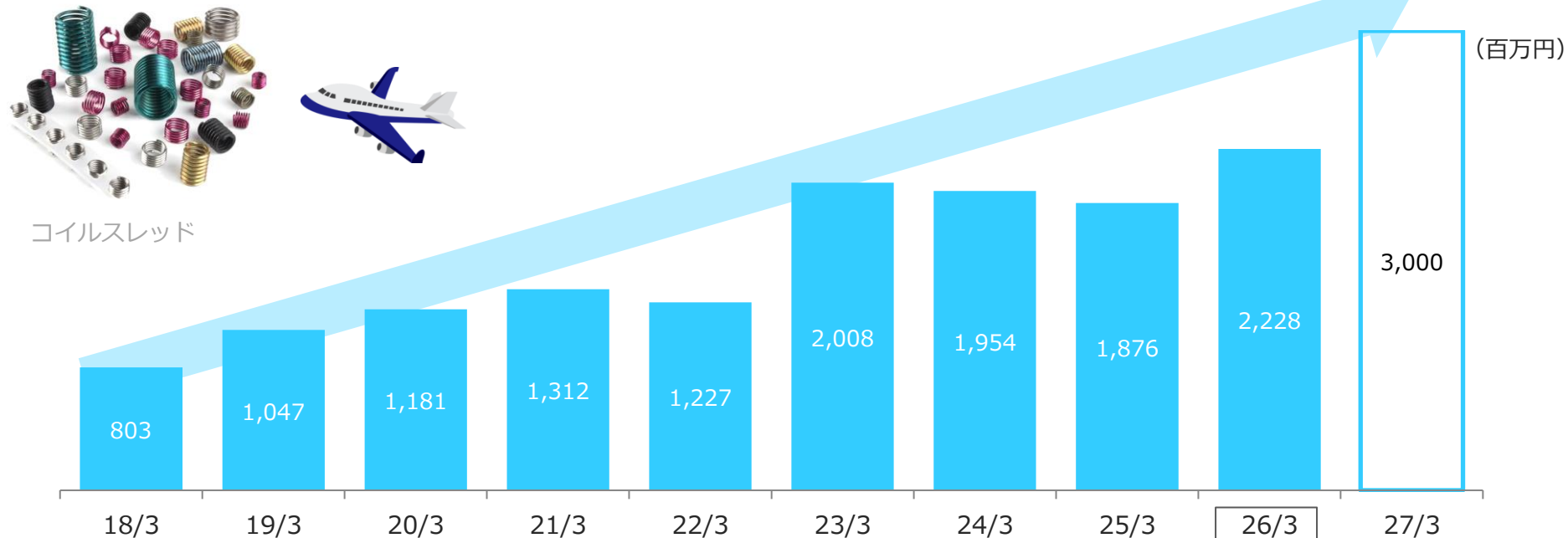
今後ブレイクしていくプロジェクトを多く抱える

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
 イギリス工場										
 アメリカ工場	増産準備中	生産中		準備中			生産中		計画中	
 チェコ工場	今上期開始		準備中				生産中	準備中		
 中国工場			準備中				計画中	準備中		生産中
 タイ工場			生産中							
 インド工場							計画中			
 ベトナム工場					生産中					
 日本工場					生産中					生産中

* デバイスのイメージは実物ではなく類似品のもの（顧客情報保護のため）

目標の30億円を狙う

上期はトランプ関税の買い控えで不調だったが、下期は一転回復し26/3期は22億円と前期比増



回復要因

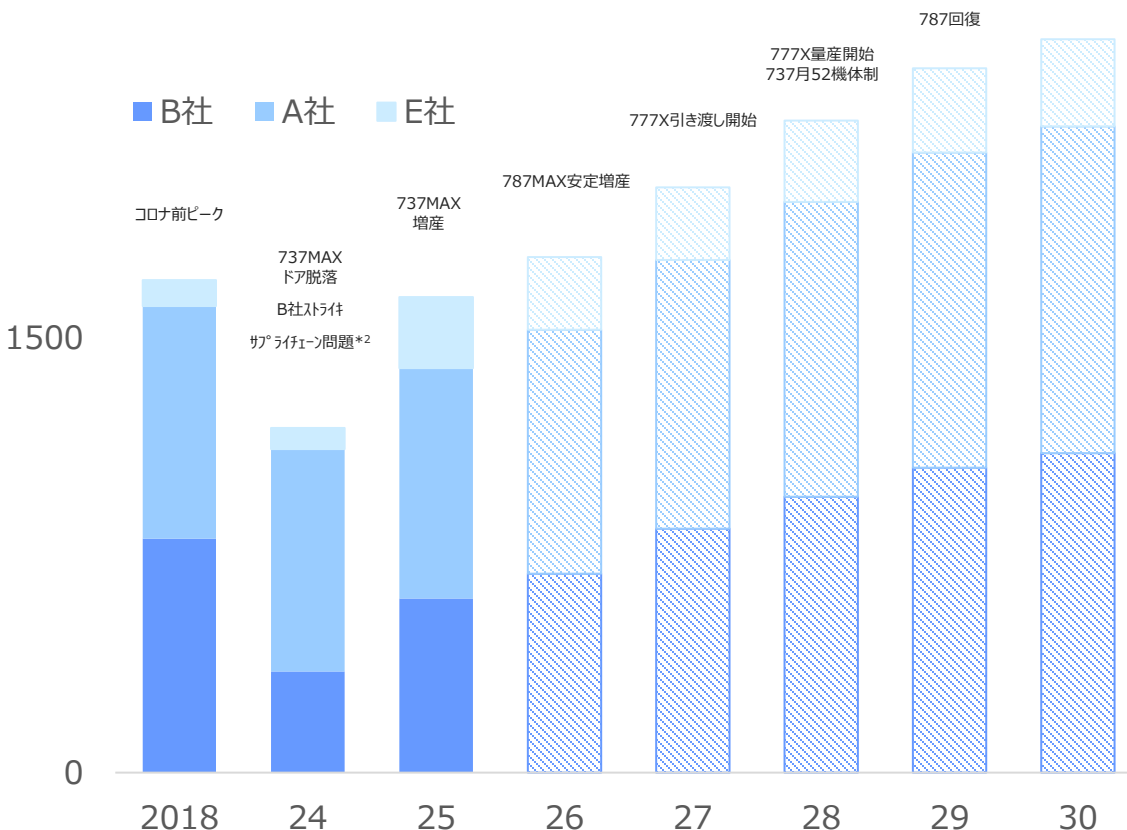
1. トランプ関税の買い控え解消
2. B社回復
3. サプライチェーン問題解消*

*コロナ期に部品サプライヤーはリストラを実施、また熟練工の多くも退職したため需要が戻っても供給能力が戻らない問題

V字回復後も安定的・長期的に拡大

(機数)
3000

航空機生産数推移



B社は24年の事故とストライキから
立ち直り生産も右肩上がりの見通し
(737MAX増産、777X量産開始、787再開)

2043年までの
航空需要成長率は4.7%*1

出典：IADF、Boeing社、COPILLOT

*1 2023-2043年の20年間の航空機需要（RPK）の年平均成長率（CAGR）が4.7%。なお、20年間の総生産数予測機数は43,975機

*2 コロナ期に部品サプライヤーの多くはリストラを実施し、また熟練工も退職したため需要が戻っても供給能力が戻らない問題

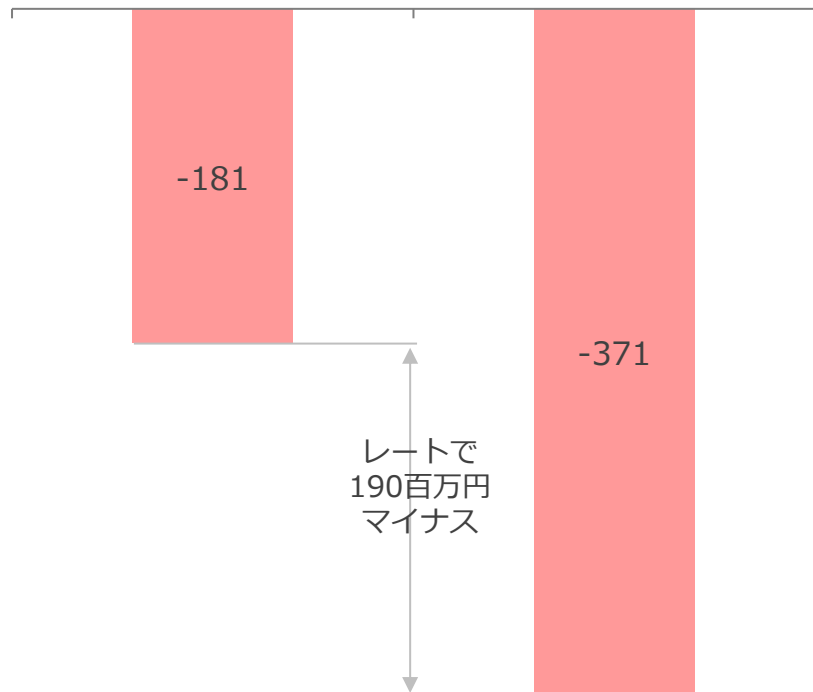
改善進むがペソ高が収益圧迫

すべてドル建て売りなので、ペソ高が進むと手取りが目減り

メキシコ工場26/3期営業利益

レートで売上が目減りした分、収益も悪化

(百万円)

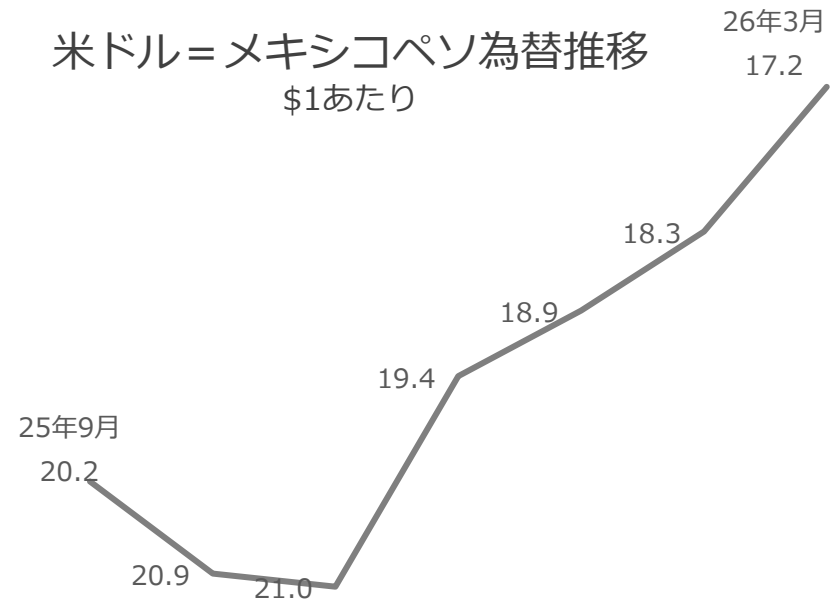


\$1 = 20.5MXN
中計策定時想定レート

\$1 = 17.2MXN
実際

米ドル＝メキシコペソ為替推移

\$1あたり



メキシコ工場

工場オペレーションは当社平均レベルまでに改善し、新規受注活動も積極化しているが、想定を超えたペソ高が収益を圧迫している

メキシコの事業環境は当社に有利

直近はペソ高で苦しんでいるが、政策および産業構造上は有利。新規受注は好調、今後の見通しは明るい

米中対立激化

- 関税
- 戦略輸出入規制



USMCA厳格化

- 域内調達率62.5%→75%
- 中国製排除強化

現地調達圧力、ニアショア推進



ブルーオーシャン

コンペティター減少

ばねメーカー進出断念・撤退

- トランプ政権警戒（2017-20,2025-）
- コロナ禍(2020-23)



従前からのばねメーカー不足

- メキシコは元々金属加工業が少ない産業構造

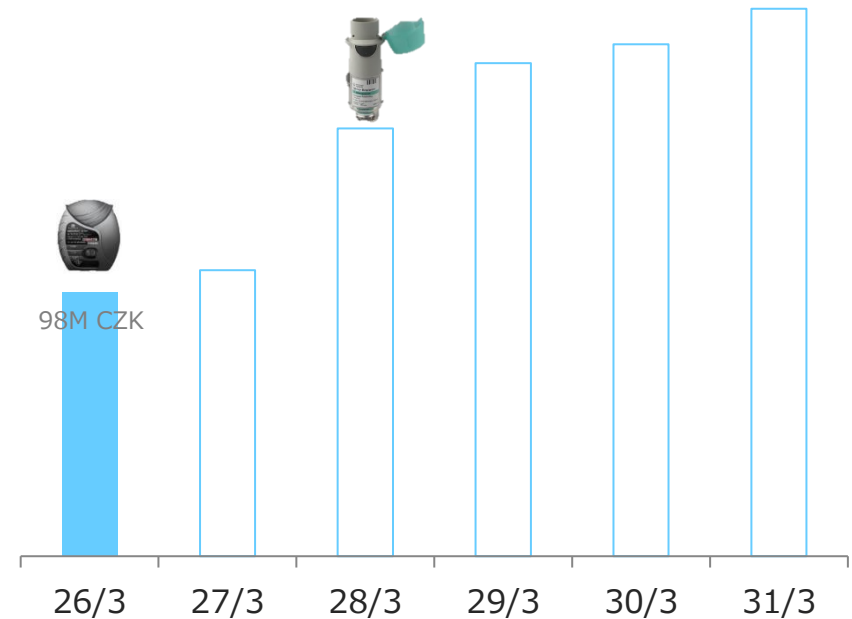
1. ばね業界について
2. 2026年3月期 連結業績概要
3. 2027年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
 - 4-1. 進捗状況
 - 4-2. 注力市場
 - 4-3. 構造改革
5. トピックス、まとめ

チェコ工場は来年度医療でブレイクスルー、アメリカに次ぐ稼ぎ頭に

主な医療ばねの供給先（計画含む）



チェコ工場売上見通し



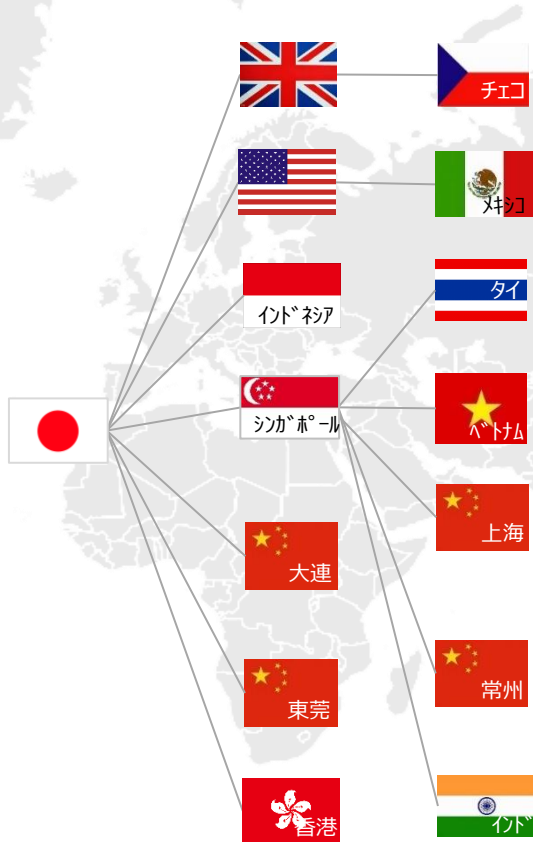
- 28/3期ソフトミストインヘイラー向けの量産後は一気に黒字化・ブレイクスルー
- 新規のインジェクター系も量産準備が進む
- チェコは立地・製造コストで有利なためEU中心に引き合いが多い

*直接の納入先はCM（Contract Manufacture）と呼ばれるデバイスメーカー。当社からばねを購入し、デバイスを完成させメガファーマに供給する

フラット化で経営効率改善

資本関係の簡素化により、ガバナンスを強化し、マネジメント効率やキャッシュの有効化を進める

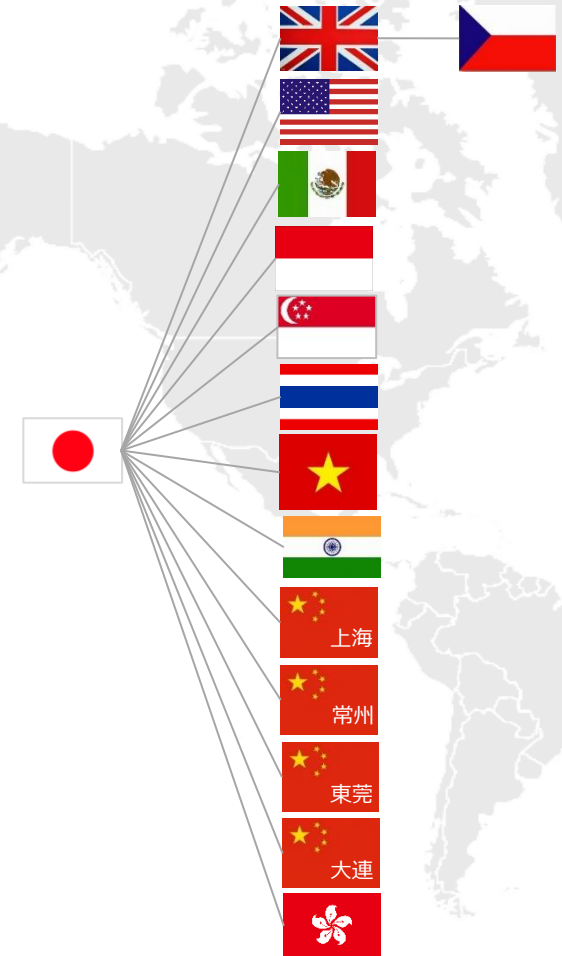
整理前



現在（26年3月）



今年度中（27年3月予定）



- 次世代自動車向け案件獲得が進む
 - 世界シェア3割獲得が期待できる画期的な新製品スタート（内容は非開示）
 - EV向けバスバーの引き合いが日本・中国・東南アジアで急増
 - 「安全」「快適」用のセンサー向けも増加
- シンガポール工場売却は2026年上期中に完了予定
- 過去5年以上連続赤字だったインドネシアとインドも黒字化達成、今後も継続する見込み
- 中国工場（東莞、大連、上海、常州）は想定よりも堅調。一方、構造改革は進める

- 医療はまだまだ成長過程。オートインジェクター以外のプロジェクトも有望。グローバル連携のメリットを最大限に活かす
- 航空機向けはB社の復調と、新たな販売網の構築で再び成長路線に乗せていく
- メキシコ工場はペソ高が足を引っ張るが、新規受注獲得に舵を切り、工場の生産性向上をさらに進め損益分岐点突破を目指す
- 2027/3期は中期経営計画の最終年度。KPI達成・過達を目指す

ADVANCEX

(お問い合わせ先)

株式会社アドバネクス
経営企画室

TEL : 03 - 3822 - 5865

Email : tsutomu_kumaki@advanex.co.jp

URL : <https://www.advanex.co.jp>

〔社名〕

株式会社アドバネクス
(スタンダード市場)

〔設立〕

1946年11月



〔事業内容〕 精密ばね製品等の製造・販売

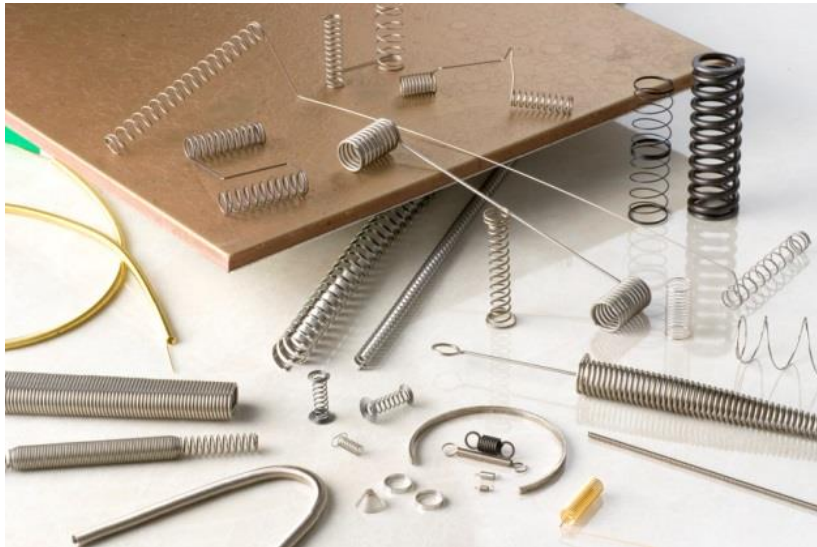
〔従業員数〕 1,913名 (連結)

363名 (単体) * 2026年3月末時点

〔連結対象子会社〕 14社 (海外14社) * 2026年3月末時点

〔売上〕 296億円 * 2026年3月期

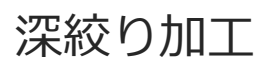
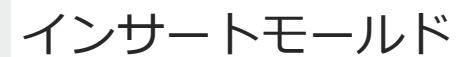
板ばね



線ばね



フォーミング加工



タングレス・インサート

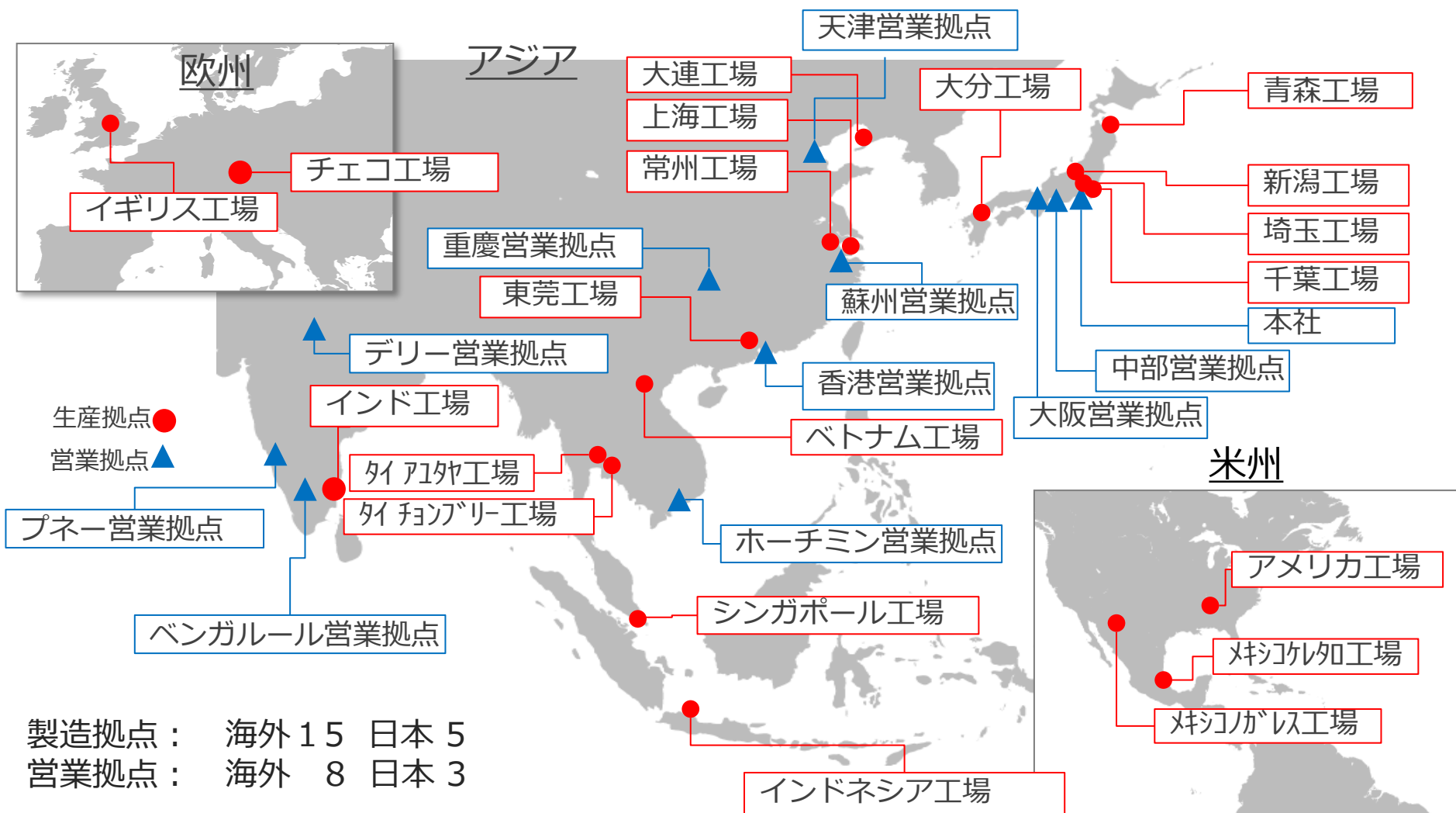


インサートカラー



ロックワッ

精密ばねメーカーでは最多の海外拠点数



(参考) 工場外観



新潟工場



埼玉工場



青森工場



大分工場



千葉工場



シンガポール工場



タイアユタヤ工場



タイチョンブリー工場



ベトナム工場



インドネシア工場



インド工場



中国上海工場



中国大連工場



中国常州工場



中国東莞工場



アメリカ工場



メキシコケレタロ工場



メキシコノガレス工場

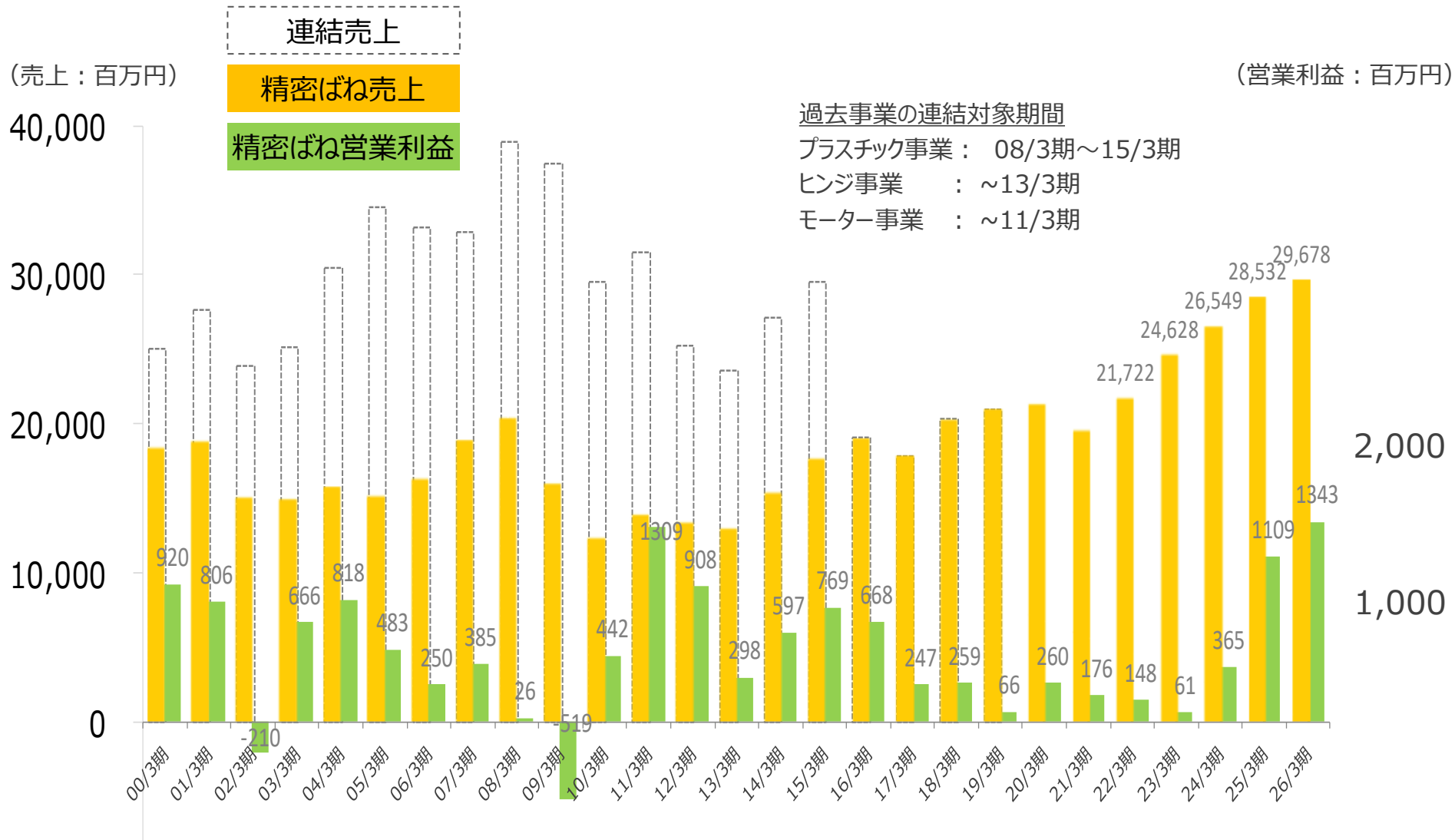


イギリス工場



チェコ工場

(参考) 精密ばね事業の業績推移

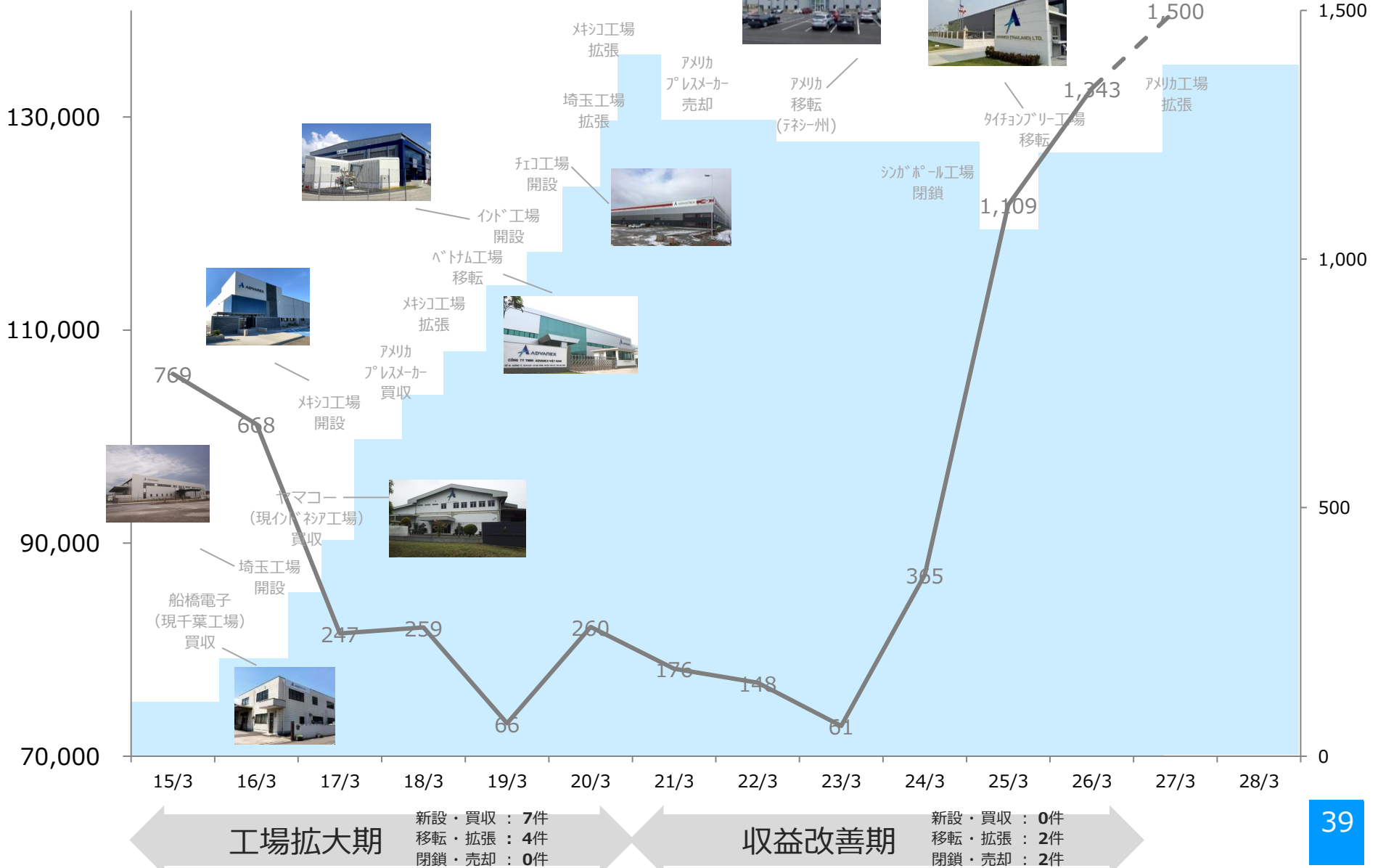


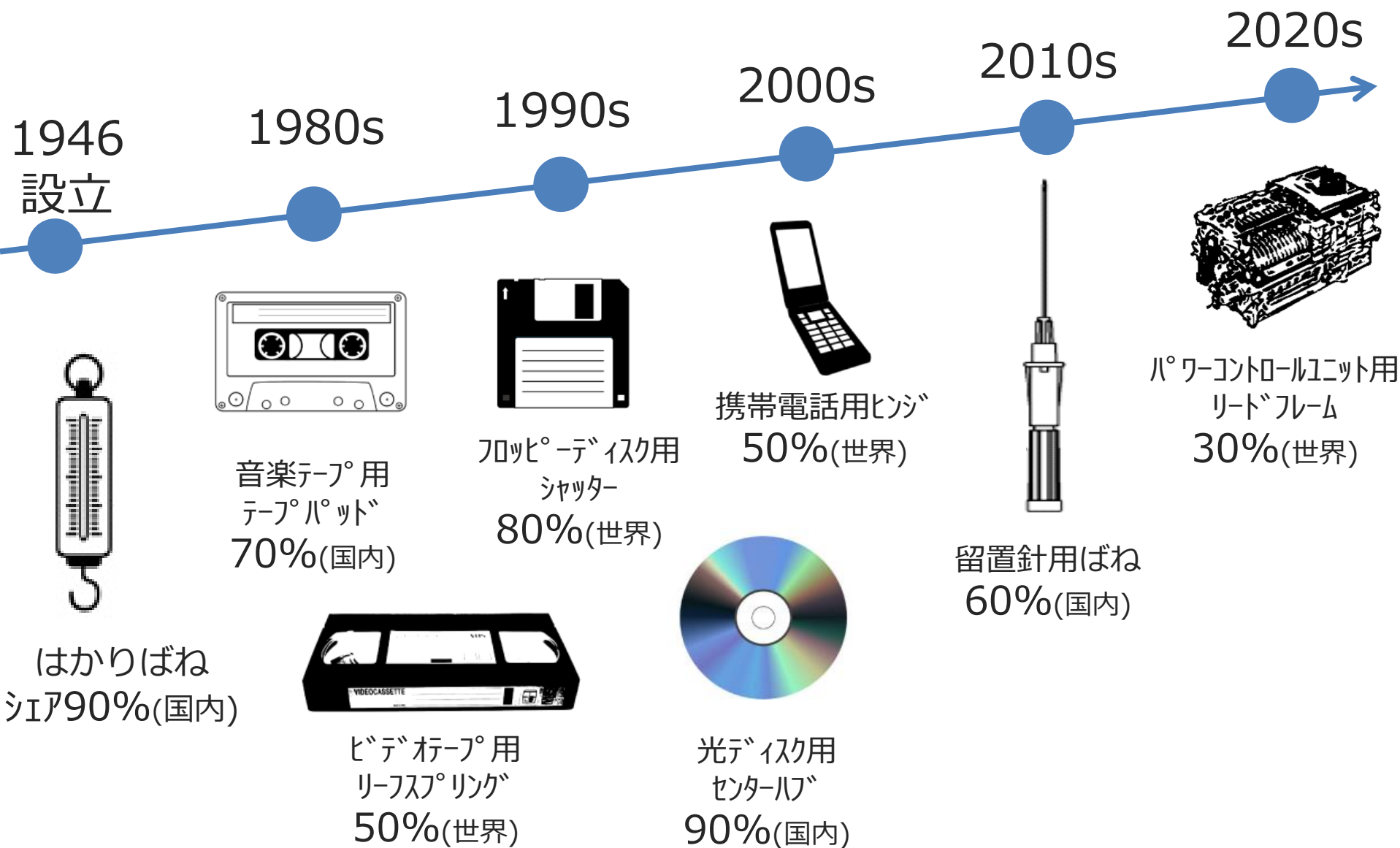
(参考) 工場面積推移と営業利益

“筋肉質”に変換し、収益力を強化していく

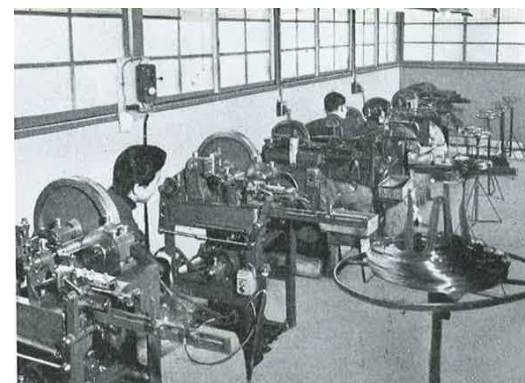
(総面積：㎡)

(営業利益：百万円)





- 1930年 東京都江戸川区にばね専門工場を創業
- 1946年 株式会社に改組、資本金を199千円で
「株式会社加藤スプリング製作所」を設立
- 1964年 東証二部上場
- 1971年 カトウスプリングUSAをロサンゼルスに設立
(初の海外進出)
- 1976年 新潟県柏崎市に新潟工場を建設し操業を開始
- 1978年 カトウスプリング・シンガポールを設立
(初の海外生産拠点)
- 2001年 株式会社アドバネクスに社名を変更
- 2004年 東証一部に昇格
- 2014年 船橋電子株式会社を子会社化
- 2015年 埼玉工場開設
- 2022年 スタンダード市場に移行



1957年頃の作業風景

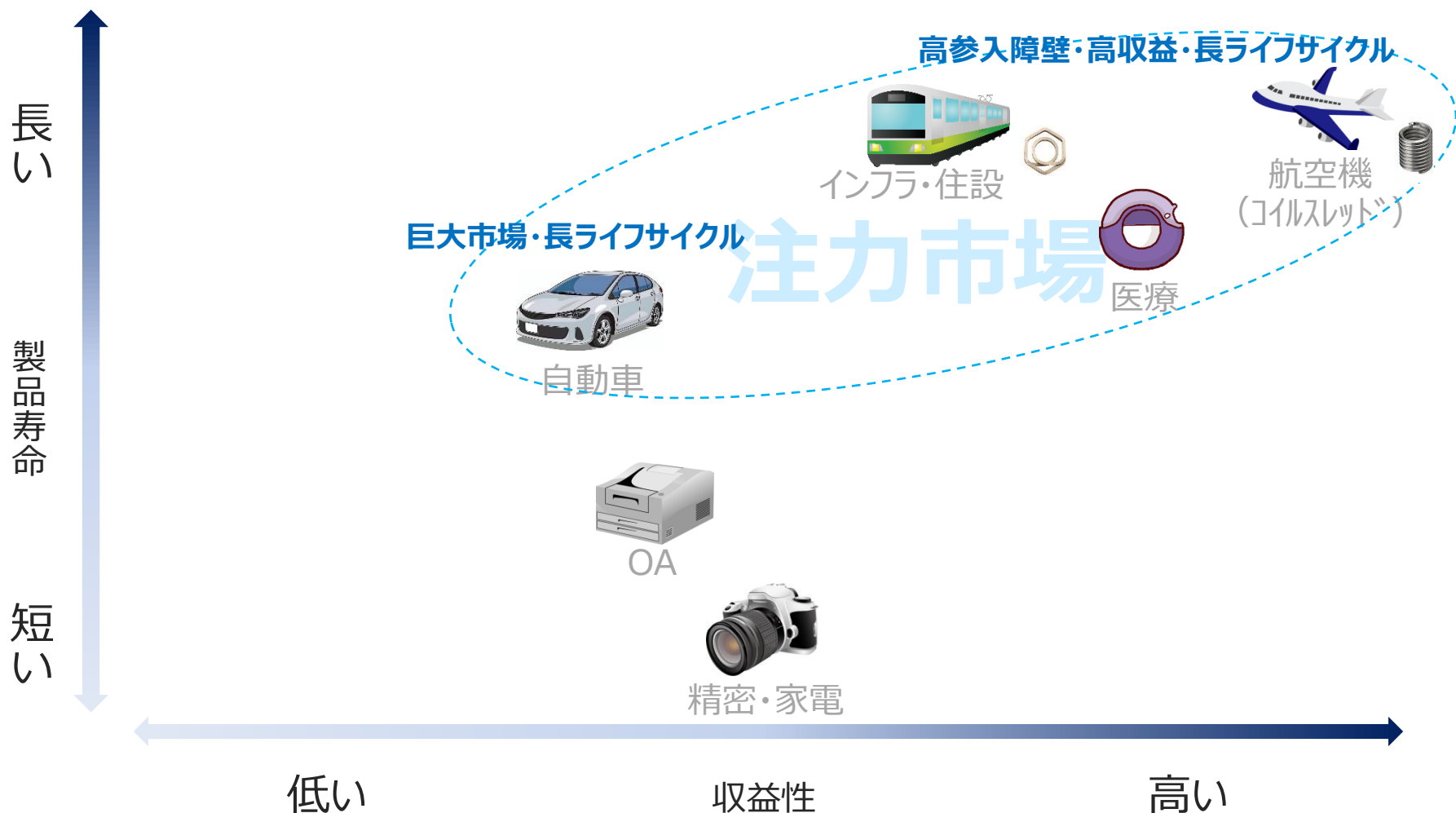


新潟工場



埼玉工場

注力分野は「医療」「航空機（コイルスレッド）」「自動車」に加え、「インフラ・住設」。
高収益、長ライフサイクルの安定市場に長期戦略をもってグループ連携で取り組む



インジェクターや吸入器など使い捨てデバイスの有効性は明らか（通院や経口薬との比較）

カテゴリー

キーワード

内容

マクロ

- ✓患者・利用者数増
- ✓医療費負担
- ✓使用承認国増

- 地球温暖化による気管支疾病者の増
- 新興国の富裕化による糖尿病患者増
- 中間層拡大による高度医療受診者増
- 医療費増加による国家財政の圧迫、コスト削減ニーズ
- 各国で新薬の認証が進み使用承認国が増加

利便性

- ✓通院不要
- ✓投薬回数少
- ✓プライバシー保護

- 自分で投与可能
 - 通院する必要がない
 - 通院できない地域住民でも治療継続可能
- 週一回の投与など（経口薬より投与回数が少ない）
- 他の来院患者や医療従事者に知られない

効果

- ✓薬効
- ✓低リスク
- ✓治癒率

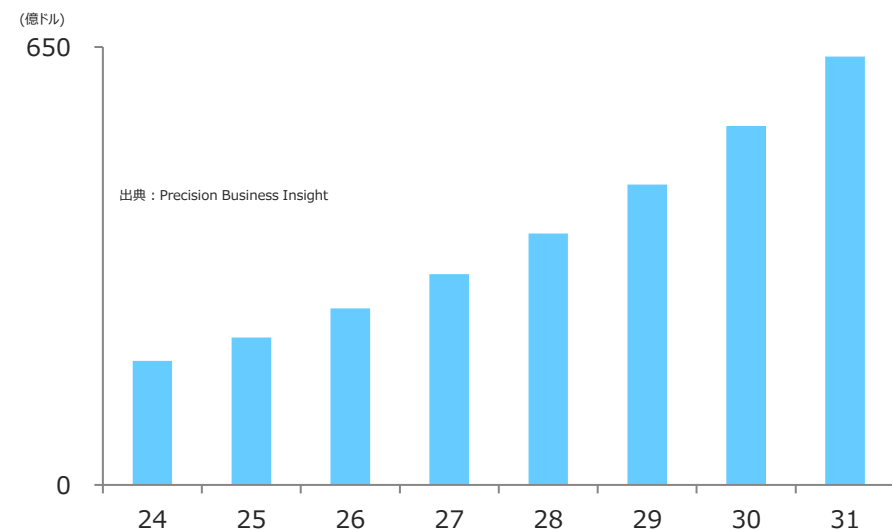
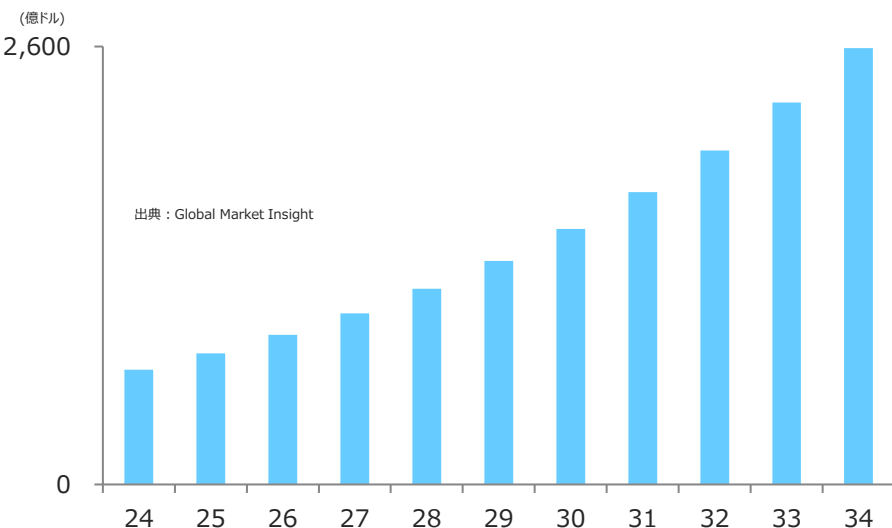
- 肺や血管に直接投与できる
 - 経口薬は消化酵素や胃酸で効果が減免
 - 経口薬は全身に作用し副作用のリスクが高い
- 医師の指示を遵守しやすく(アドヒアランス)治癒率が高い

サプライヤー

- ✓ジェネリック増
- ✓新製品、バリエーション増
- ✓新規参入増

- ジェネリックの参入により低価格化
 - 低所得国への普及、利用者増加
- 新製品、機構設計の開発・登場
- デバイス設計・アッセンブリーメーカーの参入増加
 - 一方、ばねメーカーの増加は限定的

インジェクターと吸入器は、前述の背景により安定的に成長する見通し



インジェクター市場

年平均成長率(CAGR 2024-2034)

14.3%



吸入器(インハイパー)市場

年平均成長率(CAGR 2024-2031)

19.4%



コイルスレッドは当社規格品の代表的製品
“ねじ穴の補強”と“ゆるみ止め”の効果で、主に航空機市場にて重宝されている

コイルスレッドと挿入工具

使用例

コイルスレッド主要市場の航空機



カットサンプル



ボルト締め

挿入後

挿入前

コイルスレッドをねじ込んだ
ねじ穴にボルトを締める



航空機1機あたりのコイルスレッド使用数は10万-30万個

自動車に使用される当社製品の用途は多岐にわたる

内装系

- ・ディスプレイ
- ・エアバック
- ・シートベルト
- ・温度センサー
- ・レインセンサー
- ・車内ランプなど

外装系

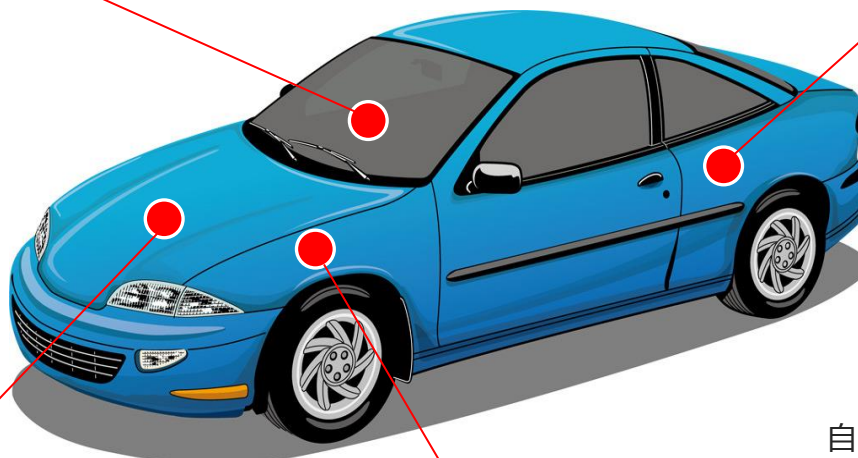
- ・ヘッドライト
- ・アンテナ
- ・ドアロック
- ・ホイール
- ・ビューカメラ
- ・ETCセンサーなど

駆動系

- ・バッテリー
- ・パワーコントロールユニット
- ・インバーター/コンバーター
- ・点火コイル
- ・スターターモーター
- ・クランクセンサー
- ・ポンプ
- ・バルブなど

操作・制御系

- ・ハンドル
- ・ブレーキ
- ・横滑り防止センサー
- ・シフトバワイヤ
- ・タイヤなど



自動車向け当社製品



インサートカラー



深絞り



インサートモールド



押しばね



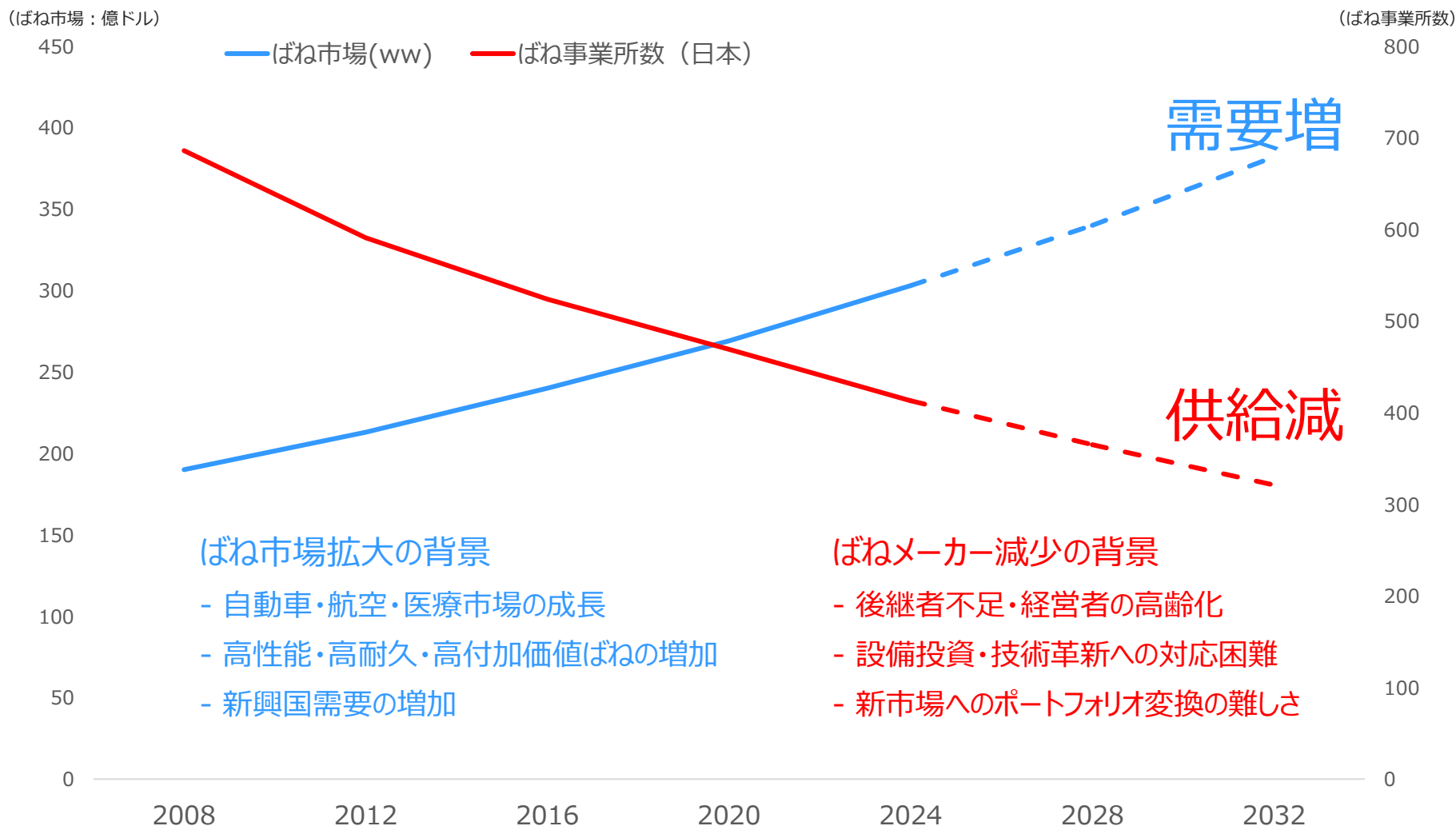
トーションばね



板ばね、プレス部品

(参考) ばね業界の需給推移

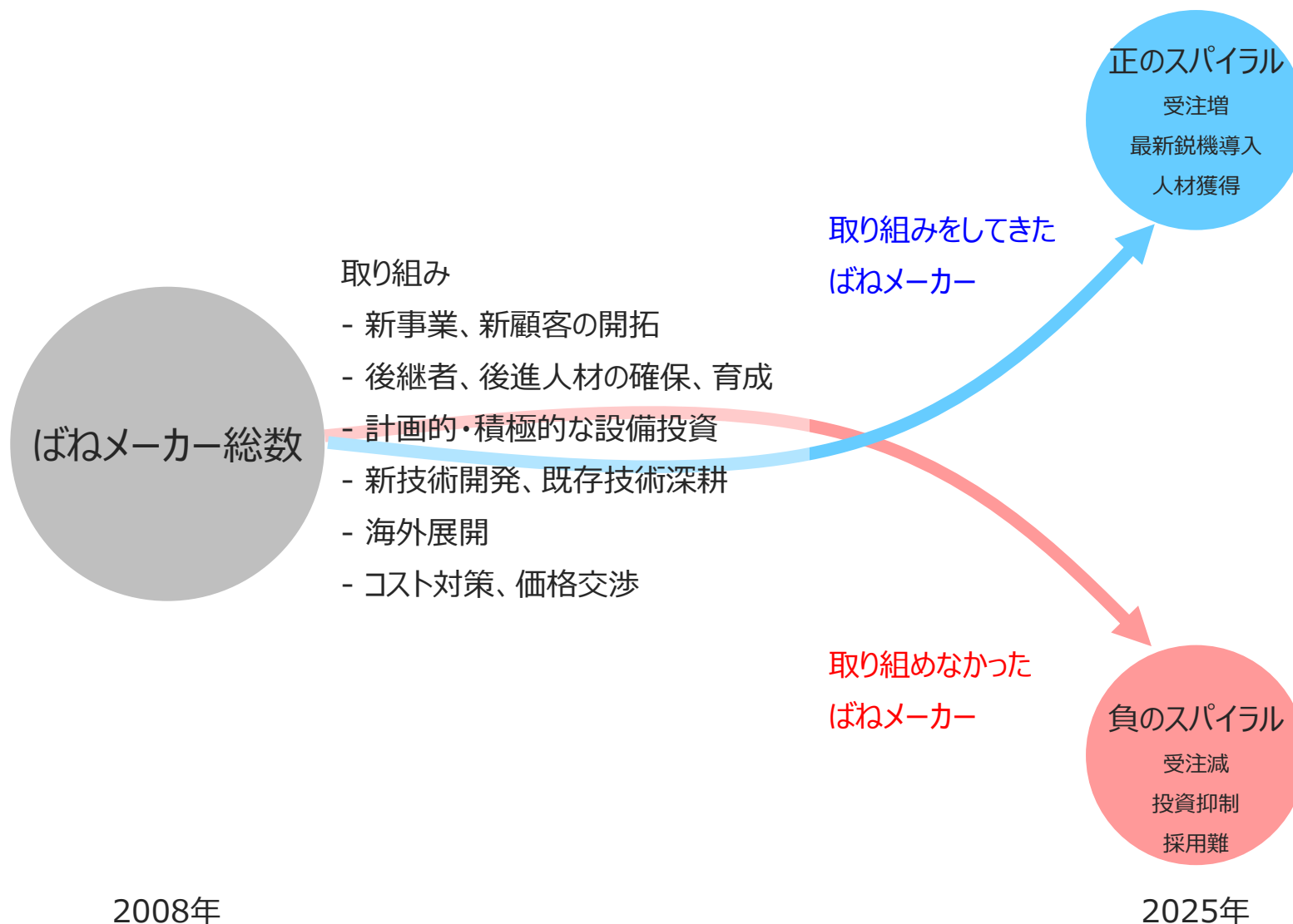
ばね需要拡大の一方、メーカー数（事業所数）は減少傾向*



出典：Deallab, 日本ばね工業会、AIによるデータ補完

* ばね事業所数は日本国内のデータだが海外でも廃業するメーカーが増えている

ばね業界でも二極化が進む。変革・革新に取り組んだばねメーカーは残存者利益を享受



(参考)業績推移

(百万円)		2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
連結	売上高	19,539	21,722	24,628	26,549	28,532	29,679
	営業利益	176	148	61	365	1,109	1,322
	経常利益	359	354	585	832	170	1,343
	当期純利益	633	17	60	268	△628	1,027
日本	売上高	8,061	8,593	8,592	8,867	9,095	9,203
	セグメント利益	115	273	165	113	222	255
米州	売上高	2,188	2,536	2,904	4,231	5,410	6,014
	セグメント利益	△527	△611	△1,041	△455	192	276
欧州	売上高	1,936	2,046	2,939	3,111	3,399	3,543
	セグメント利益	179	52	375	230	150	80
アジア	売上高	7,352	8,545	10,192	10,339	10,627	10,918
	セグメント利益	410	442	541	464	544	700
市場別売上高	自動車	9,835	11,481	12,868	14,599	14,463	14,493
	医療機器	1,775	2,234	3,182	4,131	5,365	6,038
	OA機器	2,400	2,373	2,647	2,330	2,840	2,749
	航空機器	712	691	1,068	1,682	1,743	1,858
	精密機器	1,069	901	881	799	927	1,067
	インフラ・住設	575	825	647	691	690	690
	AV・家電	586	621	611	552	560	622
	情報通信機器	661	676	390	378	444	388
	その他	1,926	1,920	2,334	1,387	1,500	1,696